

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 5日	
大阪府知事 殿	
(大阪府泉州農と緑の総合事務所長 様)	
提出者	
住 所 大阪府大阪市中央区道修町4-5-13	
藤本化学製品株式会社	
氏 名 代表取締役 藤本 和将	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6222-0147	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	藤本化学製品株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1-24
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	製造品出荷額：116億526万円
③従業員数	138人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2～4の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項									
	(管理体制図) 別紙 1 の通り								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】			①現状					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず	
	排 出 量	2647.59 t	672.54 t	14.05 t	51.52 t	41.73 t	21.53 t	10.77 t	
	(これまでに実施した取組) ・排水処理設備から発生する汚泥を脱水、乾燥して減量した。 (有機性汚泥 A) ・工程から発生する廃アルカリの中和剤の濃度を上げ発生量を抑制した。 (廃アルカリ) ・側溝の清掃から発生する下水汚泥を自社内排水処理設備にて上澄み水の処理を行い発生を抑制する。(下水汚泥)								
②計画	【目標】			②計画					
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず	
	排 出 量	2400 t	700 t	13 t	61 t	40 t	25 t	11 t	
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え、下記の取り組みを実施予定。 ・特になし								
産業廃棄物の分別に関する事項									
①現状	・汚泥、廃プラスチック、廃アルカリ、廃酸、管理型混合廃棄物、木くずはそれぞれ分別、保管をしている。								
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし								

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
16.801 t	0.73 t	0 t	0 t	0 t	0.03 t

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
5 t	1 t	10 t	10 t	0 t	0.02 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】			①現状				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない							
②計画	【目標】			②計画				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（ 5 年度）実績】			①現状				
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	649. 61 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・有機性汚泥を脱水乾燥することにより減量化を行っている。 ・排水処理設備の定期的な修繕を行い脱水、乾燥効率を維持した。 ・側溝の清掃により発生する下水汚泥の上澄み水を自社の活性汚泥設 備で処理し減量する。								
②計画	【目標】			②計画				②計画
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	675 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし								

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	5 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】			①現状					①現状		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
	(これまでに実施した取組) ・実施していない										
②計画	【目標】			②計画					②計画		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし										
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項				産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】			①現状					①現状		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック	木くず			
	全 処 理 委 託 量	2647.59 t	22.93 t	14.05 t	51.52 t	41.73 t	21.53 t	10.77 t			
	優良認定処理業者 への処理委託量	2463.91 t	22.93 t	14.05 t	51.52 t	0 t	4.83 t	10.77 t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	41.73 t	16.70 t	0.00 t			
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
	(これまでに実施した取組) ・産廃情報ネット等の情報を参考に委託基準を遵守できる産廃処理業者を 選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。										

埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	ガラスくず等	照明機器
16.801 t	0.73 t	0 t	0 t	0 t	0.03 t
0.74 t	0.73 t	0 t	0 t	0 t	0.03 t
16.061 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画	②計画	【目標】			②計画			
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	有機性汚泥 A	有機性汚泥 B	廃酸	管理型混合廃棄物	廃プラスチック
		全 処 理 委 託 量	2500 t	25 t	13 t	61 t	40 t	25 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	2500 t	25 t	13 t	45 t	0 t	10 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	40 t	15 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) ・委託処理業者に対しては、引き続き定期的に処理状況の現地確認を行う。						
※事務処理欄								

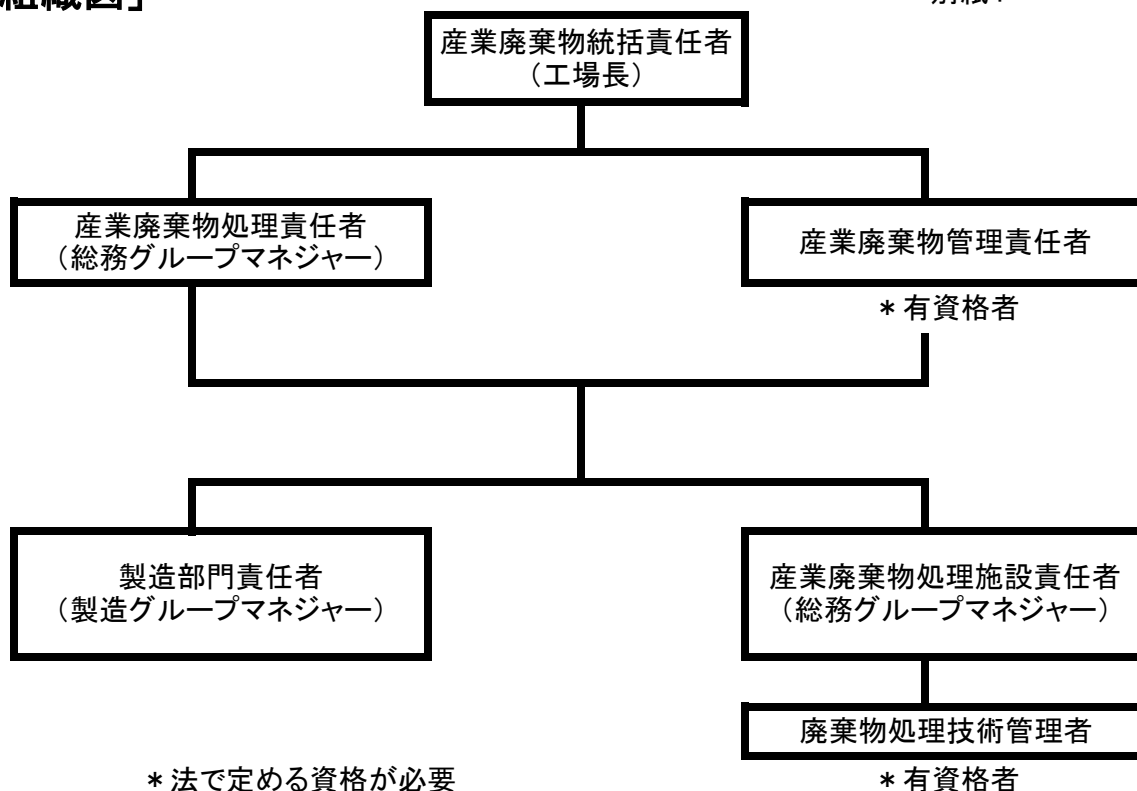
①現状

①現状

木くず	金属くず	廃溶剤	無機性汚泥	下水汚泥	無機性汚泥	下水汚泥
10 t	5 t	1 t	10 t	10 t	0 t	0.02 t
10 t	0 t	1 t	10 t	5 t	0 t	0.02 t
0 t	5 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

「社内組織図」

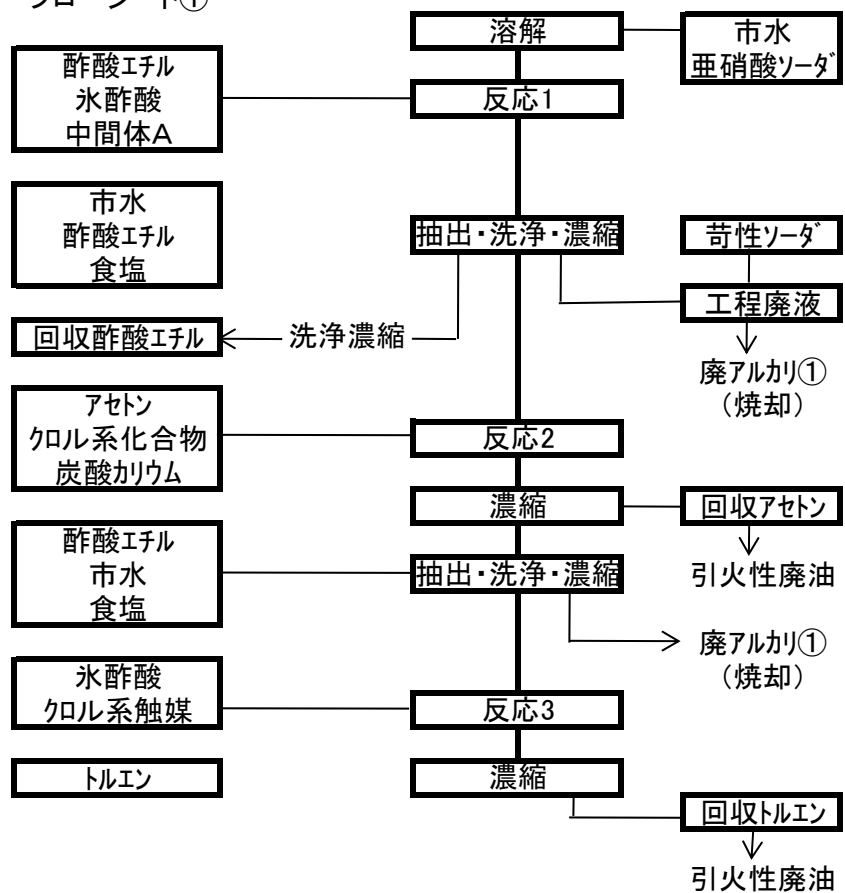
別紙1



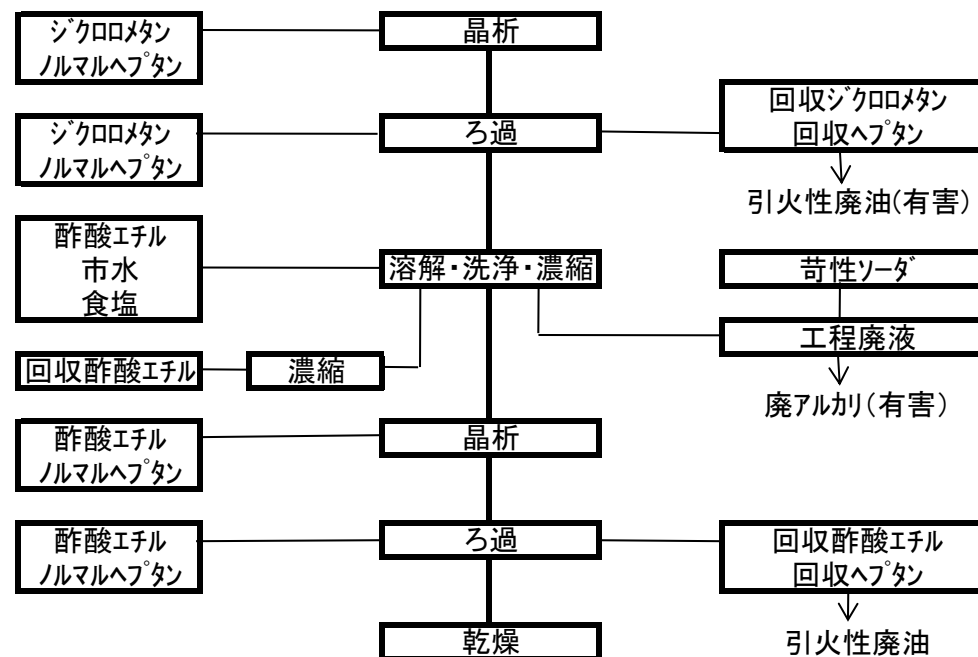
「責任者及び管理者の責務」

責任者及び管理者名	責任者及び管理者の責務
産業廃棄物統括責任者	・産業廃棄物の適正管理及び減量化、資源化等に関する社内啓発 ・処理業者委託の委託契約
産業廃棄物処理責任者	・統括責任者の命を受け、各責任者を監督、指導する。 ・行政に対する報告 ・産業廃棄物の委託先の調査 ・産業廃棄物の処理費用の調査 ・排出先の定期視察 ・委託伝票(マニフェスト)の管理 ・委託業者の作業指示と監督
製造部門責任者	・発生する廃棄物の種類、性状及び量の把握 ・各保管施設の点検と維持管理 ・廃棄物発生量の帳簿作成 ・廃棄物の減量化・再資源化の調査
産業廃棄物処理施設責任者	・運転操作員の指揮監督 ・処理の運転日報・月報の作成と保管
廃棄物処理技術管理者	・処理施設の運転、維持管理

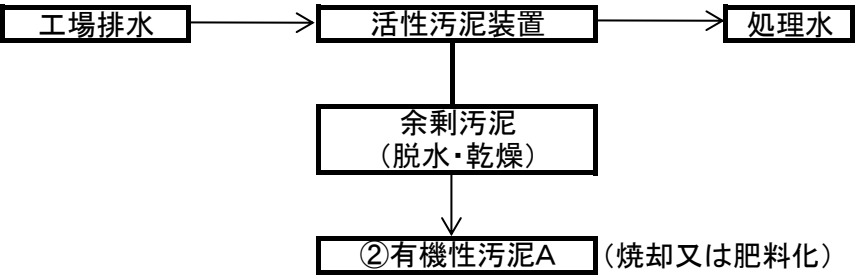
フローシート①



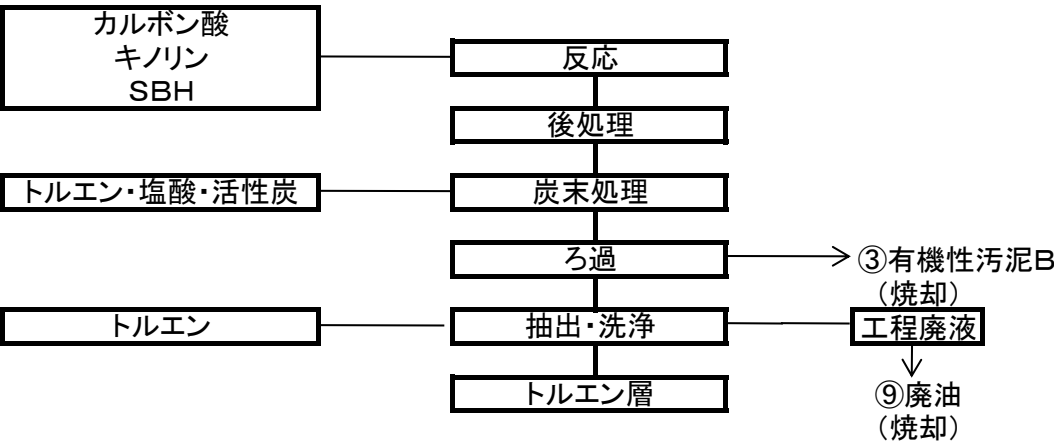
別紙2



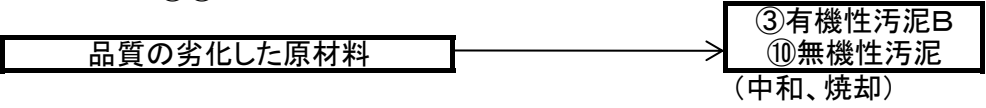
フローシート②



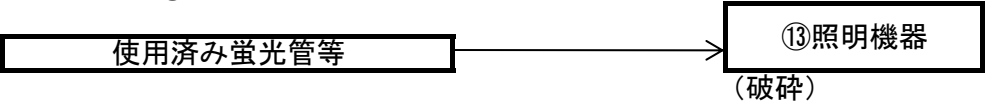
フローシート③⑨



フローシート③⑩

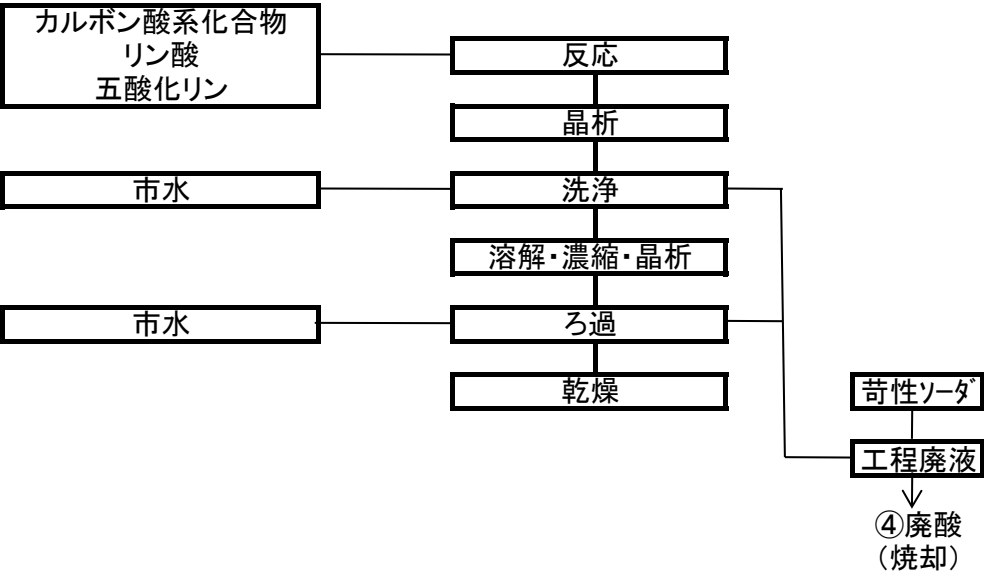


フローシート⑬

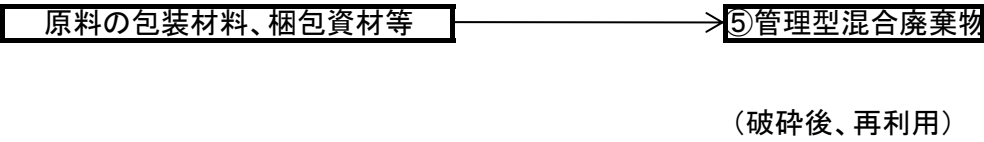


フローシート④

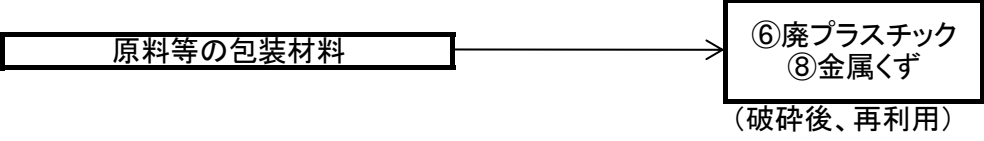
別紙4



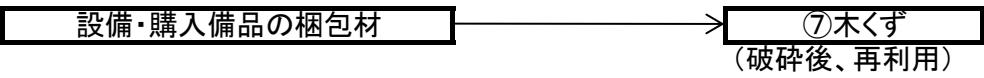
フローシート⑤



フローシート⑥⑧



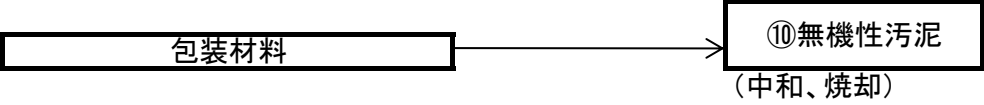
フローシート⑦



フローシート⑩⑪



フローシート⑩



フローシート⑫

